『歴史地震』投稿シート

ver.202006

＜基本情報＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 記事の種類 | 論説 ・ 資料 ・ 報告 ・ 紹介　　　　　※ 論説および資料の場合は，査読の対象となります． | |
| 記事タイトル |  | |
| 著　　者 |  | |
| 投稿者（連絡責任者） | 氏　　名 |  |
| 所　　属 |  |
| 郵便番号・住所 | 〒 |
| 電話番号 |  |
| 電子メールアドレス |  |

＜質問・チェック事項＞

記事について

|  |  |
| --- | --- |
| （1） 記事の内容は過去の歴史地震研究会で発表した内容ですか？ | はい ・ いいえ |
| ・「はい」の場合，発表年・開催場所・発表番号（O-12 など）をご記入ください |  |
| ※ 発表済の場合は，編集出版委員会の判断で，通常2名以上の査読者を1名とすることがあります（論説，資料の場合）． | |

体裁・形式について

|  |  |
| --- | --- |
| （3） 原稿は，歴史地震研究会ウェブサイトからダウンロードした標準書式のWordファイルを書き換えて作成したものですか？ | はい ・ いいえ |
| ・　「いいえ」の場合，以下の標準書式に従っていることを十分に確認してください．標準書式からのずれが大きい原稿は，編集出版作業に手間がかかりすぎるため，受け付けられないことがあります．  □ A4 サイズ，左右の余白各2cm，上下の余白各2.5cm  □ フォントは和文が明朝体，英文がTimes  □ 文字サイズは，和文タイトル16 pt ，英文タイトル12pt，所属・著者名10.5pt，英文要旨10.5pt．  □ 著者の連絡先は和文の所属に脚注として加える．  □ キーワードは英文要旨の次の行に　　Keywords: xxxx, wwww, zzz. のように記入する．  □ キーワードの下でセクションを切り替え，本文は2 段組とする．段の横幅は8cm，段の間は7mm 程度，1 行22 文字，1 ページ45 行とする．  □ 本文の文字サイズはすべて10.5pt ． | |
| （4）　記事の種類が「論説」あるいは「資料」の場合，英文の表題，英文の著者名・所属，英文要旨（200 語程度），英文キーワードを備えていますか？ | はい ・ いいえ ・ 該当しない |
| （5）　句読点は「，」と「．」で統一されていますか？  ※ されていない場合は検索・置換ツールを使って統一してください | はい ・ いいえ |

|  |  |
| --- | --- |
| （6）　本文中で和暦と西暦が混同されるおそれはないですか？  ※　歴史地震研究会では，混同を避けるため，和暦には漢数字（宝永四年十月四日など），西暦にはアラビア数字（1707年10月28日など）を使うことを推奨しています． | ない ・ ある |
| （7）　西暦1582 年以前の西暦は（グレゴリオ暦ではなく）ユリウス暦を用いていますか？ | はい ・ いいえ ・ 該当しない |
| ・「いいえ」の場合，使っている暦の種類が明記されていますか？ | はい ・ いいえ |

図・写真について

|  |  |
| --- | --- |
| （8）　既公表の文献（自分で公表したものも含む）や機関・個人が所蔵している史料から転載した図や写真はありますか？ | はい ・ いいえ |
| ・「はい」の場合，出版社・学会や機関，個人に転載許可をとっていますか？ | はい ・ いいえ |
| （9）　製本（印刷）版でカラー図・写真の掲載を希望しますか？ | はい ・ 検討中 ・ いいえ |
| ・「はい」もしくは「検討中」の場合，希望する図・写真の番号をご記入ください |  |
| ※ カラー図を希望された場合，本文中にはモノクロの図が掲載され，そのカラー版が口絵として巻頭に再掲される格好となります．モノクロとカラーで図の内容・サイズを変更することはできません．なお，カラー頁料金が追加の掲載料が発生します．  ※ 歴史地震研究会ウェブサイトで公開されるオンラインジャーナル（PDF版）では，希望の有無に関わらず，フルカラーとなります． | |
| （10）　カラー掲載しない図について，モノクロ印刷で必要な情報が判読・識別可能ですか？ | はい ・ いいえ ・ 図はない |